

真理に対するクーデタ

【訳者注】まず、この絵を見ていただきたい。一見して、トランプ氏がマイクに取り囲まれたかに見えるが、これはすべてピストルであり、主流メディアや有力政治組織に混じって、ホワイトハウスや国連までがピストルを突きつけている。これが決して誇張でないことが、これを読めばわかるであろう。特に CIA とは、予想通り、最初から敵対関係のようであり、大統領付きの官製護衛は危険だから、私的に安全対策を講ずると発表したという。この異常事態が新聞で取り上げられるかと言えば、それはなく、それを問題にすること自体が、ロシアの指令を受けていると判断され、処罰の対象になるのだと言っている。ロン・ポールの論文と併せて読めば、これらの論客が誇張しているのではないことがわかるだろう。いずれにせよ、アメリカという国の末期症状ぶりが、ますます明らかになっていく。

Paul Craig Roberts

January 5, 2017, Information Clearing House



Jon Rappoport のアメリカ御用新聞に対する揶揄は傑作である——「ウラジミール・プーチンは秘密のアメリカ大統領なのだ。」

そうだよ。そういうことなのだ。アメリカは今はソ連だということ。すべておしまいだ。トランプは、プーチンから命令

されていた共産主義者だった、アカだったのだ。それがずっと前からの彼のゲームだった。彼は億万長者アカだ。」

嘲笑には効果がある。そしてワシントン・ポスト、ニューヨーク・タイムズ、CNN、その他の、本当のジャーナリストのふりをする売春メディア (presstitute) ほど、嘲笑に値するものはない。しかし私がこれまでずっと強調し、[Glenn Greenwald](https://theintercept.com/2016/11/26/washington-post-disgracefully-promotes-a-mccarthyite-blacklist-from-a-new-hidden-and-very-shady-group/) のような本当のジャーナリストが示唆しているように、売春メディアが向こう見ずに押し付けるフェイク・ニュースは、熱核戦争の脅威をもたらす。<https://theintercept.com/2016/11/26/washington-post-disgracefully-promotes-a-mccarthyite-blacklist-from-a-new-hidden-and-very-shady-group/>

数年にわたって、ロシアとその大統領は、止めどもなく悪魔化されてきた。ロシア人は、ジョージア [グルジア] の南オセチア侵略（プーチンが北京オリンピックにいたときになされた）は、ワシントンの挑発だったと知っている。ロシア人は、ワシントンによるウクライナのクーデタ（プーチンがソチ・オリンピックにいたときに実行された）は、クリミアにあるロシアの黒海海軍基地を奪い、ロシアを地中海から遮断することを狙った、挑発であったことを知っている。ロシア人は、ロシアがヒラリーの E メールとアメリカ大統領選挙をハックしたという告発は、ウソであることを、ワシントンが知っていることを、知っている。ロシア人は、ワシントンが作り出した“ロシアの脅威”は、その類のすべて、例えば、ロシアがポーランドやバルト諸国を侵略しようとしているという話とともに、ウソであることを知っている。ロシア人は、ロシア国境のアメリカの ABM 基地は挑発であり、NATO のロシア国境や黒海での軍事演習も同じだということを知っている。このリストは、読者自身でいくらかでも付け加えることができる。

このウソは至るところに見出され、ますます馬鹿げたものになり、現在では米政府において、CIA や、各執行部局、多くの米上院・下院議員の間で、制度化されている。これらのウソが、西側世界では、止めどもないメディアの繰り返しによって、本当のようになっているという事実は、ロシアでは、西側の人民がロシアへの軍事攻撃態勢を取らされていることを示す、と見られている。プーチンは多くの機会に、西側のプロパガンダは危険な不安定化をもたらしていると、公然と警告してきた。にもかかわらず、彼が言うように、誰もそれに耳を貸す者がいない。

ワシントンは、その反ロシア・プロパガンダに熱心のあまり、議会がある情報に関する法案を通過させ、オバマがこれに署名した。これは、ウソのニュースをまき散らす者を取り締まる、現実の措置を合法化する項目「タイトル V」を含んでいる。このまき散らす者とは、私のそれのように、公的なウソに挑戦する、代替メディア・ウェブサイトのことである。本当のことを言う代替メディアは、ロシアの影響下にあるとして告発される。昨年夏、秘密に包まれたあるウェブサイトが作られ、これが最近、ロシアの直接的・間接的影響下にあるとされる、200 のウェブサイトのリストを掲載した。ワシントン・ポストは無責任にも、長い記事を掲載し、200 のウェブサイトの“フェイク・ニュース”が、ロシア政府の片棒を担いでいると保証した。

言い換えると、真理を抑圧することが、腐敗したアメリカの支配体制の、最後の防衛手段なのである。過去 24 年間に、3 つのワシントン政権が、アメリカの市民的自由を抑圧するとともに、9 つかそれ以上の国で数百万の人々を殺した。これら歴史に前例のない、大規模な犯罪を隠ぺいするために、売春メディアはウソをつき、中傷し、名誉棄損をしてきた。

しかもワシントン犯罪政権は、世界に対して傲然と立ち、自分は民主主義、人権、真理、正義の“なくてはならない”保護者だと言っている。ロシア外務省の報道官 [マリア・ザハロワ] が最近言ったように、アメリカが例外的であるのは、力を悪のために用いる点である。
[ザハロワは、アメリカを 5 歳児だとも言った。]

ワシントンは、その敵だけでなく、真理を語るすべての人々を“ロシアの間諜”と烙印を押し、ロシアの悪魔化が十分に民衆を怖がらせているから、アメリカ人は真理を語る人々に背を向けてくれるだろうと期待している。

無関心な人々でも当然わかると思われるが、ある体制があまりにも危険なことをやりすぎて、CIA 長官が、公然とドナルド・トランプの選出をロシアの干渉のせいにしたが、一片の証拠も出せない——実際、その反対の証拠しか出てこない——としたら、彼らは何が何でも権力にしがみつこうとするだろう。

CIA の、次期大統領に対する、公然と見え見えの、前例のないプロパガンダ攻撃を受けて、トランプは CIA 長官 **John Brennan** に対して挑戦状を突きつけた。トランプはこの情報機関を刷新し、再組織する意図をもっていると噂されている。こういうことを言った前の大統領、ジョン・F・ケネディは、彼らに打ちかかる前に CIA に殺された。ケネディは、彼が再選挙されるまでは、CIA には手が出せないと考えた。その遅れが CIA に、彼の暗殺を計画する余裕を与えた。

トランプは自分の危険を理解しているようである。彼は、自分の秘密警護隊（これが JFK に差し向けられた）の代わりに、私的な安全保障手段を用いる意図をもっていると告げた。

これは驚くべきことではないだろうか？ ロシア大統領は、ワシントンは世界を熱核戦争に追い込もうとしていると公的声明を発したが、この警告は無視されていると述べた。アメリカの次期大統領は、CIA からの全面的攻撃にさらされており、自分に付けられる、公的な警護隊が信頼できないことを知っている。このような異常な事態は、もっぱら話題をさらうことだろうと人は思うかもしれない。しかし、そのような議論は、この私のような、ごくわずかの代替メディア・サイトに載るだけで、それは **PropOrNot**（支持か不支持か判定委員会？）とワシントン・ポストによって、“ロシアの指令を受けている”と烙印を押されることになる。